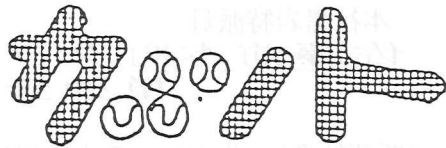


Since.5.1972



東村山市市民テニスクラブ協議会機関紙

コート取り当番担当クラブ

7月	8月分のコート	美住A
8月	9月分のコート	本町A
9月	10月分のコート	恩多A

発行責任者 柳 利夫

住所 東村山市萩山町5-6
-26 301号

編集責任者 黒岩 俊 雄
☎ 0423 (95) 4336

第4回運営委員会報告

東村山市スポーツセンター2F小会議室 AM10:00~12:15

I. 報告事項

- ① 技術部報告
- (1) 12月までに下記のイベントを予定しているが、詳細は未定。
- ・クラブ対抗
昨年と同様なものを行う。
 - ・MIXを主体とした個人戦
方法については検討中であるが、上級者は初心者とペアを組む、ハンディを設ける等平均化を図り楽しむ大会にする予定。
- (2) レッスン生の試合について
- 最終日(8月25日)にレッスン生の試合を計画しています。
- (3) 技術部員増員について
1回のレッスンで3面×2名×前後半=12名必要であり、現在の技術部員22名では対応に無理があるので増員を計画中。

技術部員の条件

- ・コートに良く出る
- ・教えることに熱心
- ・ある程度の技術を持っている

- ② 事務局報告
渉外費対象者の追加として江原、桑原の両氏を決定。

③ 各クラブ会長報告

青葉クラブ
8月31~9月1日 合宿

山中湖 ペンション グリンシャワー

④ 均等等委員会報告

5月18日委員会を行い5クラブに分けることを決定したが、分けかたについては検討中である。6月15日次の委員会を行って決定し、8月の運営委員会で報告する予定としている。

ご結婚おめでとう

恩多クラブ 高橋 ユミさんが6月15日 八王子平安閣で挙式されました。

お相手は伊藤雄司さん(37歳)、新居は昭島市

June bride お幸せに!

太田杯争奪戦報告

1. 男子団体

優勝 日機装
準優勝 青葉A
第3位 美住A
第3位 恩多A

2. 女子団体

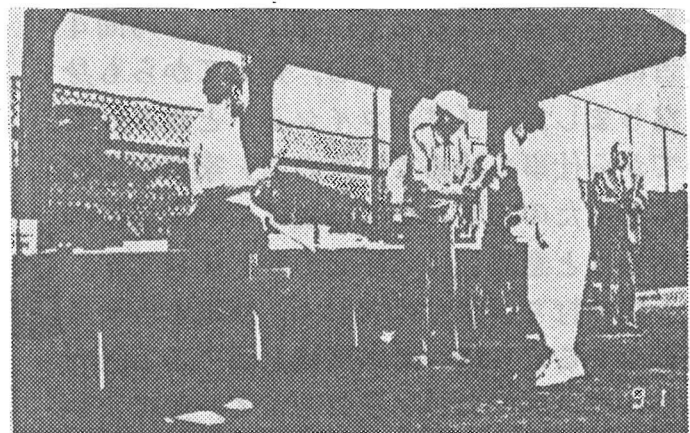
優勝 恩多A
準優勝 金曜会A
第3位 本町A
第3位 本町B

都民大会報告

都民大会が5月19日行われました。市民テからは男子が坂井、川路、森田、女子は江原、内藤、荻野、松井の各氏が参加しました。成績は清瀬に2-1、国分寺に0-3、足立に0-3でした。

柏崎市との親善試合日程

11月9日~10日柏崎市との親善試合を久米川コートで行います。なお、歓迎会を9日(土)に行いません。雨天の場合、9日はスポーツセンター、10日は運動公園を使用する予定です。



春季大会ミックスダブルスで
太田名誉会長に優勝カップを
返還する武田さん(左は柳会長)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 ☆ 今月の「テニスショップフジ」による ☆
 ☆ 用具指導は ☆
 ☆ 7月21日(日曜日)10時 ☆
 ☆ から行います。 ☆
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

私とテニス

美住クラブ 望月八重子

市民テに入会したのは、8年前になります。学童保育の父母会で知り合った夫の友人が、夫に市民テに入ることを勧めました。夫が私にも「どう、やってみない、少しはスマートになるよ。」と言ったので、一緒に入会することにしました。

30代後半になって、初めてラケットを握り、走ってボールを打つ、ということはなんと体力がいるスポーツなんでしょう、と思いました。

週1回の初心者教室から帰ってくるとぐったり疲れ、次の日は脹脛や腰が痛んで、回復まで2、3日かかりました。そして教室に1ヶ月通っても、ボールがうまくラケットに当たらず、ネットも越さないという状態でした。うまく当たっても短い弱いボールを返す自分に嫌気もさし、前半3ヶ月程出席し、後半はほとんど行きませんでした。2年目には夫に励まされて、初めは参加していました。しかし、また後半、腕の上がらない自分に嫌気がさし、休むことが多くなりました。久しぶりにコートに行くと、一緒に入った人達が驚くほど上手になっているのにびっくりし、くやしい気持ちでいっぱいになりました。そこで、3年目からは、真面目に参加することになったのです。先輩から「熱心な人は上達するわね!」と言われたことを励みに、とにかく休まぬようにしました。年齢や運動神経の鈍いハンディキャップを背負いながらも-----。

ストロークが打ち返せるようになり、バックも打てるようになると面白くなってきました。しかし、雨や雪で教室が休みになると、とたんに勤が鈍り、元にもどってしまうスポーツであることもわかりました。続けることが上達につながることを信じて、今年も初級教室に通ってがんばっています。

仕事をもっている私にとって、週1回、1時間45分の練習は気分をさわやかにし、帰ってからも身体が軽くなりました。(ドッコイショ!と腰かけて、一息ついてから仕事を始めていたので)家事が面倒にならなくなったのです。これは続けていく必要が「大」であるなと意識しはじめたのが5年目です。そして、近頃は打ち返すだけでなく、次はどうするか、頭を働かすことも勝つためには必要であるとわかりました。頭の回転の鈍い私にとって、脳によい刺激を与えてくれるテニスは、我が心いや体の友といえましょう。

私は、今ではテニスが大好きになり、これからの人生をずっとテニスと共に歩んでいきたいと思っています。

本社黒岩特派員 佐藤前本町クラブ会長と 単独会談に成功

《新華社発》北京にいる本社黒岩特派員は、中国に亡命中の佐藤前本町クラブ会長との単独会談に成功し、6月1日付け「ガット」で報道され内外に大きな波紋をなげかけた、藤岡前青葉クラブ会長との共謀による新クラブ結成の動きについての真偽をただしたと伝えてきた。

(会談の内容下記の通り)

黒岩「本題に入るまえに、ぜひお伺いしたいことがあります。長期政権の座を追われ、亡命中の今の心境は？」

佐藤「さみしい。トホホホホ.....」

黒岩「同情します。たぶん私も来年は同じことになるかもしれない。それを思うと今からさみしくて、さみしくてトホホホ.....。さて本題ですが、ズバリ新クラブ結成の真偽は？」

佐藤「本当です。ただし皆さんが誤解をもって想像しているとおもわれるいわゆるテニスクラブではありません。ズバリ言いましょ、それは“飲み屋”です。お店の名前を、藤岡と佐藤に共通の“藤”をとって“クラブ藤”とすることにしたのが一部にもれてこのような誤解を生んだのでしょうか。あわて者はどこにでもいるものです。」

黒岩「なるほど、そうゆうことだったのですか。ところで、計画はどの辺まで進んでいるのですか？」

佐藤「土地の高騰を招いたりして皆さんにご迷惑がかかるのを恐れ公表していませんでしたが、青写真はできています。しかし、まだ解決しなければならない問題が2、3残っています。」

その1つは、社長を誰にするかと言うことです。集人力に勝る藤岡氏か、資金力のある私になるか。藤岡氏の集人力のおよぶ範囲は20才以下に偏っていますし、私の資金は“円”ではなく“元”ですから、これが何ともたよりなく、いずれも問題です。

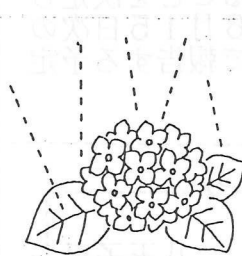
2つ目は、このクラブができますと、今繁盛のソバ屋“夕日屋”とか、駅前の飲み屋“庄がない屋”などの客が激減して、これまたご迷惑をかけるのではないかと言う心配です。

3つ目は、藤岡氏からの連絡によると、現在ホステス、ホストの希望者が連日 藤岡家に殺到しており、この対応に苦慮していると言うことです、そんなこんな悩みを抱えて2人で内緒で会っては、トホホ、トホホと飲んでばかりいます。トホホ.....。」

黒岩「確かに特ダネです。この記事が再び“ガット”にのりますと、またまた大騒ぎになることでしょう。」

佐藤「最後に一言。あなたも安易に政権の座を明け渡してはいけません。あくまでしがみつき、市民テ発展のため頑張ってください。私も藤岡氏同様“捲土重来”を期して、毎週土、日の早朝は、天安門広場で壁打ちをして腕を磨いています。」

黒岩「長時間にわたるインタビューに応じていただきありがとうございます。ありがとうございました。ご忠告にも感謝致します。」



編 集 後 記
梅雨入り宣言の後、ほとんど雨が降らず、今年は空梅雨かなと思っていたら、6月の下旬になってから毎日雨、降るべき時に降らないと、植物も育たないし、水源も枯れるから必要なんだろうけど、土・日くらいは上がって欲しい。この号がお手元に届く頃には、梅雨もあとわずか、もうしばらくの辛抱です。